

ATI CERTIFIED JUGOSHI® ARBORIST® EVALUATION  
**ATI認定 樹護士アーボリスト® 審査評価採点票**

試験日／試験会場	受験者名

1次審査					
1. ギア インспекション	Passの数	／ 22項目	※16項目以上で合格	失格	合格
2. スローライン セッティング	Completeの数	／ 4項目	※3項目以上で合格	失格	合格
3. クライミング チェック	Completeの数	／ 11項目	※8項目以上で合格	失格	合格
4. ハンドソー カutting	Completeの数	／ 4項目	※3項目以上で合格	失格	合格
1次審査結果				失格	合格
エバリュエーター コメント					

2次審査					
5. ツリー&サイト インспекション	Completeの数	／ 4項目	※3項目以上で合格	失格	合格
6. ワークプラン	Completeの数	／ 4項目	※3項目以上で合格	失格	合格
7. ワーククライミング (リムウオーク・リギング)	Completeの数	／ 9項目	※7項目以上で合格	失格	合格
エバリュエーター 総合評価コメント					

総合判定

Pass / Complete の合計数	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <span style="font-size: 48px; margin: 0 10px;">/</span> <span style="font-size: 48px; font-weight: bold;">58</span>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">失格</td> <td style="width: 50%;">合格</td> </tr> </table>	失格	合格
失格	合格			

70%の41項目以上で合格

エバリュエーター	
リード	アシスタント

## ATI認定 樹護士アーボリスト®第2次審査 エバリュエーター 評価採点票

受験者氏名	NAME (ローマ字記載 姓名)	性別	血液型
電話番号	住所		
携帯電話 緊急連絡先	続柄 ( )		
エバリュエーター1 氏名	エバリュエーター2 氏名	日時: DATE / /	
試験会場	住所		

## エバリュエーター&amp;受験者 事前確認 重要事項 (この評価採点票は公開されています)

- ・「樹護士アーボリスト」審査試験は、アーボリストの名を冠するにふさわしい専門職人としての基本的スキルを評価認定するものです。高木管理の現場作業において使用するギア類の適切な取捨選択、フィールド計画と設計、チーム作業の連携と安全、適切なクライミングおよびワークポジショニング、そしてリギング技術の基本スキルについて評価を行い認定します。
- ・この認定のための評価は、得点数だけで合否を決める通常の実技試験とはやや異なり、アーボリストの現場実践に必要な基本的スキルの理解度や修得度を各セクションの試技の総合評価として認定するものです。エバリュエーターは受験者に対する質問などを伴って評価を行っていきます。認定評価される内容と課題は事前に細かく提示されています。
- ・受験者はエバリュエーターからの質問や指示ある時は自らの試技について追加説明したり実技の修正ができなくてはなりません。
- ・エバリュエーターは受験者が、事前にこの審査試験の「目的」と「内容」を十分に理解していることを確認します。実際の現場作業を想定した各セクションでは、アーボリストとしてふさわしい適切な現場仕事の遂行を想定した課題が与えられます。
- ・チャンピオンシップ競技時の採点基準とは異なります。また「マスターアーボリスト」など熟練技術を身につけたレベル認定ではなく、基本に則ったベストプラクティスの遂行を評価認定します。
- ・受験者に不明な点がないよう、セクション開始事前に質問を受けつけます。
- ・受験者は必要に応じてエバリュエーターにグラウンドワーカー役として作業の補佐を指示することができます。ただし指示できる内容は各セクションで認められたことのみとします。
- ・エバリュエーターは、受験者の試技や説明が不十分である場合には、再質問などを行い、それでも改善がされない場合には、該当の項目について「警告」を与え、または各評価項目の可否を評価します。
- ・ギア他、物を落下させた場合は警告となります。ただし、インジャリーフリーの物はその限りではありません。  
(インジャリーフリーとはケガの可能性が極めて低いもので、スローライン・手袋・ハンカチ・セーフティグラス等。ペンはインジャリーフリーではない。)
- ・重要なコールがない場合は3回につき警告1回となります。ただし、「セクション2 スローライン セッティング」においてはコール1回ごとに警告1回です。
- ・重要なコールとは、スロー・ヘディック・オンロープ・パークチェック・パウンズチェック・クライミンアップ・クライミングダウン・オープンロープ・スタンドクリアー・オールクリアーです。
- ・各セクションおよび全体での合格には、70%以上の「Complete」または「Pass」が必要です。
- ・致命的なミスまたは試技が未達成な場合は「失格」となります。また各セクションごとの「警告」3回で「失格」となります。各セクションごとに「合格」または「失格」の認定評価を行います。改善が必要な項目と内容をエバリュエーターから伝えられます。
- ・「合格」のセクションについては、1年以内の受験に限り免除されます。ただし、「セクション1 ギア インスペクション」と2次試験のセクションごとの免除はありません。
- ・TW/CSの認定資格ある者が実技評価を受ける場合は、カッティングとリギングに該当するセクションに限定して評価認定が行われます。
- ・全てのセクションで評価認定に合格した者は、認定「樹護士アーボリスト」の称号を冠して業務遂行にあたる事が認められます。

## 5. ツリー&サイト インスペクション

このセクションでは、樹木作業に臨む際の樹木およびフィールドのインスペクションの理解を評価認定します。  
樹木およびフィールドの精査点検と説明は10分以内で行ってください。  
※このセクション5～7は連続して行われます。

**【受験者が用意するもの】**

・インスペクションとプランニングの為の手許メモを作成する準備をします。ヘルメットを着用。

**【エバリュエーターが事前に準備するもの】**

・樹木とフィールドの双方のインスペクションを想定します。  
・会場によっては写真等の使用による課題提供をします。  
・筆記試験を準備します。

エバリュエーターが評価する内容と要点	評価項目	C/I	警告
<p>エバリュエーターは、事前に対象樹木と想定する作業内容を伝えます。</p> <p>「現場の樹木およびフィールドのインスペクション（精査）を行い説明して下さい。仕事で使用している作業計画チェックシートなどがあればそれを使用して説明することもできます。メモなどを作成しても構いません。」</p> <p>・受験者が、次の項目を網羅して樹木と周辺環境の精査をすること求めます。地上の支障物、樹上空間の障害物、主幹や樹冠の様子、樹木全体の構造や安定性、電線などの要素を含みます。</p>	・電気施設や電線の配置などの確認	Complete ・ Incomplete	
	・地上支障物 / 空間支障物の確認	Complete ・ Incomplete	
	・樹木の構造的特性 / 安定性の確認	Complete ・ Incomplete	
	・樹木とその周辺 危険因子の確認	Complete ・ Incomplete	
	警告の回数                      回	セクション合否結果	
	セクション5      このセクションの結果	失 格	合 格

## 6. ワークプラン

このセクションでは、樹木作業に臨む際のワークプラン構築の適確性を評価認定します。  
 樹木およびフィールドの精査点検の結果、ワークプラン概要の説明を10分以内で行ってください。  
 ※このセクション5～7は連続して行われます。

※指定された枝をチーム作業として安全に降ろすことを想定し、リギング作業でのゾーンニング、チーム人数、役割分担、レスキューの役割などについて計画と構想を説明します。

※制限時間10分

【受験者が用意するもの】

・インスペクションとプランニングの為に手許メモを作成する準備をします。ヘルメットを着用。

【エバリュエーターが事前に準備するもの】

・必ずしもタイムツリーではない樹木の一部の枝のリギング作業が想定できるように準備します。樹木とフィールドの双方のインスペクションを想定します。

エバリュエーターが評価する内容と要点	評価項目	C/I	警告
<p>エバリュエーターは、事前に対象樹木と想定する作業内容を伝えます。剪定する必要がある枝を想定し、その枝を降ろすことを作業目的として伝えます。</p> <p>「現場の作業計画の想定を説明して下さい。仕事で使用している作業計画チェックシートなどがあればそれを使用して説明することもできます。メモなどを作成しても構いません。」</p> <p>・受験者が、枝を下ろす際のドロップゾーンやセーフティゾーン、ワークゾーンの指定を含むリギング作業計画を説明できることを評価します。                      またグラウンドワーカーとの協力連携などチーム作業の想定やレスキューの計画も説明できることを確認します。</p>	グラウンドワーカーと協働連携する作業計画の概要説明		
	・セーフティーゾーン、ドロップゾーン・ワークゾーンのゾーンニングの説明	Complete ・ Incomplete	
	・指定された枝を吊り降ろす計画と手順、必要な作業についての概要の説明	Complete ・ Incomplete	
	・想定するクライマーの登攀ルートについての説明	Complete ・ Incomplete	
	・事故が発生した場合のレスキュー対応に関する説明	Complete ・ Incomplete	
	警告の回数                      回	セクション合否結果	
	セクション6      このセクションの結果	失 格	合 格

